

祇園新橋地域のまちづくりをすすめる、ひとつの集まりとして「祇園新橋まちづくり部」は活動をしています。「祇園新橋まちづくりニュース」は、これからのまちづくりを皆様とともに考え、その取組をお知らせするニュースです。

第31回 意見交換会のご案内

無電柱化に向かってキックオフ！

新橋通の無電柱化について、どのように進めていくか勉強します。

【日時】2017年**6月13日(火)午後1時30分~3時**

【場所】「登希代の2かい」(大和大路新橋通上ル東側)

【申込】申込は不要です。会費も無料です。気楽にご参加ください。

祇園新橋を大切に思う皆さまのご参加お待ちしております！

報告 認定式&設立パーティー

5月26日(金)、祇園新橋景観づくり協議会は、京都市に申請中でありました地域景観づくり協議会としての認定式と協議会設立を記念してパーティーを行いました。

認定式は辰巳大明神前で執り行われ、地域の皆さまや多くの観光客が見守る中、門川京都市市長から当会の奥田会長に認定証が手渡されました。

引き続き、小さな結婚式京都祇園店で設立パーティーを開催いたしました。参加者は86名にもなり、いさんの豆弘さんと豆珠さんには華やかな舞を披露していただきました。



京都市をはじめ、多くの方々や企業には多大なご協力をいただき、心より感謝いたします。

その期待に恥じることがないように活動していきますので、これからも、よろしくお願いいたします m(_ _)m



『チラシ配り』お手伝いください！

地域と写真家と大学が一体となった景観づくりキャンペーン

【日時】6月12日(月)午後2時45分~4時 辰巳大明神前集合

【内容】路上撮影にあたってのマナー啓発チラシを前撮業者や観光客に配布します。

15分でも30分でも、チョコッと参加も大歓迎！皆さんお集まり下さい！

【主催】祇園新橋景観づくり協議会

【共催】京都女子大学

【協力】景観を考えるフォトグラファーの会・NPO 法人京都景観フォーラム・祇園新橋まちづくり部

今年度の活動について、担当者を決めて進めていくことになりました。

- ・《新規》景観づくり計画書 担当：協議会役員
- ・《新規》白川の蛍 担当：東坂、富田（白川を美しくする会）
- ・《新規》宵桜ライトアップ 担当：秋山
- ・《新規》無電柱化 担当：協議会役員
- ・《継続》白川の掃除 担当：パスザバトン
- ・《継続》辰巳大明神のお祭り手伝い 担当：登希代
- ・《検討》料理店交流・祇園祭を楽しむ 担当：未定



5月9日（火）「登希代の2かい」にて。
参加者は22名でした。

【意見交換会のご報告】

1. 今年度の活動

- ・白川の桜：勉強会をやって、何をやるかも決めていく。（担当：富田、東坂）
- ・来年の桜ライトアップ：やるかやらないかも含めて月には決める。（担当：秋山）
- ・景観づくり計画書のまとめ：今年中にまとめたい。地域の目標と約束事。（担当：協議会役員）
- ・無電柱化：勉強会から始める。関電の京都担当を意見交換会に呼ぶか？大ガス電気事業のモデルケースにできないか？いずれにせよ電線は関電（担当：協議会）
- ・料理店交流（担当：未定）
- ・祇園祭を楽しむ：去年からの課題だがなかなか進められていない。協議会役員が祭に参加してしまっているので他に誰かやってくれる人いないか？
- ・継続する取組については担当もそれぞれ継続でお願いしたい。

2. 認定式とパーティー

- ・認定式は、市役所応接室で開催するのがこれまでの通例であり、応接室以外でやるのは初めてのこと。
- ・地域が主催に加わる場合、通例での認定式の流れ（主旨説明、出席者紹介、局長挨拶5分、認定証授与5分、地域代表者挨拶3分、懇談の時間、記念撮影、閉会）に修正が必要となるかもしれない。
- ・雨の場合のことも考えておかなければならない←小さな結婚式さんが協力してくれる。
- ・認定式参加役員の確定、会場のセッティング、座る位置などの確認、現地の確認も必要となる。
- ・今回の認定式は、新局長が出席する初めての認定式となる。京都市独自の制度である地域景観づくり協議会制度をより知ってもらえる機会にもなるし、新局長とのパイプを築くチャンスにもなる。
- ・京都市からの広報発表後、地域からもマスコミに投げかけていただくと取り上げてもらえると思う。
- ・料理の協賛店には、店名を掲示することでPRに協力する。
- ・パーティーは短時間なので、名刺交換程度で時間が終わってしまうかも。せっかく料理に協力していただいたのに捨てられたらもったいないので、タッパーなど、持ち帰り用のものもあると良いのでは？

3. 地域×京女×フォトグラファーによる景観づくりキャンペーン

- ・実態調査をやるという話で動いていたが、中国からの業者や、フリーのカメラマンなども増えていて、対応を急ぐ必要が出てきた。
- ・学生40名が1時間程度で行い、2人ペアくらいで対応する←地域側も人数を揃えてあげた方が良いのでは？
- ・学生は授業の一環として、観光客向けに景観評価を聞くような調査を行う。
- ・業者用と観光客用で、グループを変える？←前撮り業者は教員が対応した方がよいと考えているが、観光客には学生が対応する。
- ・前撮り業者向けのチラシは、キャンペーンだけでなく、普段、配布できるものにもすることも考えられる。
←チラシを作っておけば、プレスなどにも渡せる。あとで、渡せるものがあるとよい。
←プレスリリースを各方面からお願いしたい。テレビにもぜひ取材してほしい。
←協議会のPRにもなるので、協議会名でチラシを出した方がよい。
- ・業者の有志でもネットワークを作してほしい。フォトグラファーの会の情報も、そこに加えたい。
- ・景観は地域によって守られ、作られている。景観を守ることに一緒に協力してほしい、といったPRをしたい。
- ・中国人は団体行動が多く、調査をしにくいとの意見が祇園南ではあった。
- ・中国語（簡体字）版も作る。